

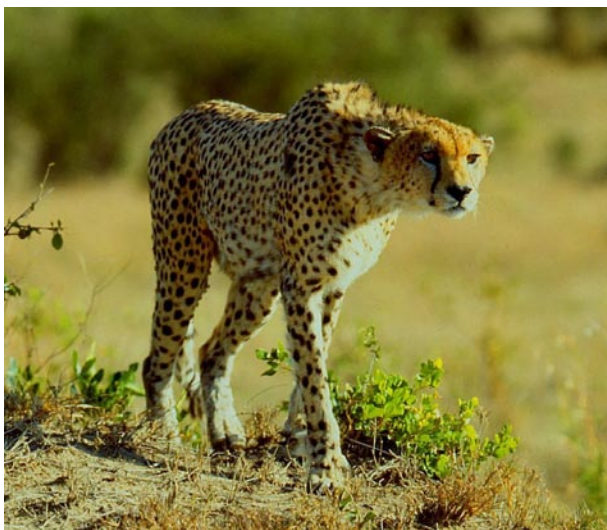


キリマンジャロの氷河



草原の王者アフリカライオン。夕暮れが近づいたサバンナで、何かしら思いに耽る雄ライオン。

「ちょっとライオンのお兄さん。なんで難しい顔してソッポ向いてるの?」「いぼ猪に顔面蹴られて引きつってまんねん!」



最速のランナー、チータ

## ■ 別世界の経験

ケニヤとタンザニアへ初めて入るため、横浜検疫所まで出かけた時だ。見慣れぬ小さな部屋に通されて痛い思いをして黄熱病とコレラの予防接種を受けると、既に別世界へ入った興奮を覚えていた。

ケニヤ空港のイミグレーションでUS \$の所持金がほんの少し申請額と違うだけでしつこく追求されて税関職員に袖の下を渡した事も、キリマンジャロ山(5895m)のチェックポストで(予め許可を取っているのに)入山者が多いので入れないと言われて法外な入山料を取られた事も、タンザニアの国境で柄の悪いドライバーに相場の3倍のチップを脅し取られた事も、別世界の経験だった。それはこのドライバーが言ったように「This is Africa!」だった。

## ■ 赤道直下の万年雪

アフリカ東部を4000kmに渡って南北に走る大地溝帯(リフトバレー)。2000万年前に始まり今も活動するこの断層に沿って激しい隆起活動が起き標高1000～2000mの広い高原を形成した。そして周辺には多くの火山が生まれた。

キリマンジャロ山(5895m)もその一つで、アフリカ大陸の最高峰だ。赤道直下に在りながら万年雪を頂くこの山に憧れの想いを抱くのはヘミングウェイならずともだ。そして高原の大草原に生きる野生動物たちにも。

”西側の山頂近く、干涸らびて凍り付いた1頭の豹の死体が横たわっている。こんな高い所まで豹が何を求めてやって来たのか誰も説明した人は居ない”

ヘミングウェイ著「キリマンジャロの雪」より

## ■ 野生動物達のテリトリー

野生動物達のテリトリーの中にテントを張っているの、夜になると徘徊する動物達の鳴き声が直ぐ傍らに聞こえる。背の高いマサイ族の男が長い槍を持って周りを警備してくれているが、ライオンにドラのような太い声で喉をゴロゴロ鳴らされたり地面にへばり付くような声でゴオーと鳴かれると眠れない。

連夜の睡眠不足の中でセレンゲティ平原をジープで走っていた4日目だった。他の動物は何度も見掛けるのに一番撮りたいチータには会えないでいた。

動物は気長に探すしかないと判っていても、マサイ族のガイドに「ガイド料をもっと払えと言ってるのか?」等と有らぬ疑いの目を向けてしまう。しかしチャンスは突然やって来た。草原にボツンと見える小さなブッシュの傍を通り過ぎようとした時、ガイドが突然ジープの速度を落として静かにブッシュに近づいた。するとチータが、昼寝を邪魔されたかのような不機嫌な顔つきでノツソリと現れた!

## ● 大川さんのホームページはこちら

<http://www.sgns.gov.cn/scholaweb/conts.htm>

<http://kawamoto1940.web.fc2.com/>

<http://www.sgns.gov.cn/scholaweb/queenvalley.htm>

● すでに掲載された「写真便り」はこちらにあります

<http://wanli.web.infoseek.co.jp/ookawasan/essey-title.html>